授業科目名	体育スポーツ実践的研究演習III
科目番号	0BVA105 / 02JD104
単位数	2.0単位
標準履修年次	2・3年次
時間割	筑波　鹿屋：通年、集中
担当教員	前田 明,山本 正嘉,髙橋 仁大,金高 宏文
授業概要	光学式モーションキャプチャー、フォースプレートやハイスピードカメラ、オブジェクトトラッキングシステム、球質診断装置等の先端的な研究機器をスポーツパフォーマンス研究センター等に設置して、体育・スポーツの実践的研究能力を向上させるための演習を行う。必要に応じてその種目の競技場や体育館に設置しデータを取得する。その後、得られたデータの分析法、フィードバック法を検討し、状況に合わせたデータ処理、データ提供をどのようにすべきか議論する。さらに上記の客観的データに加えて、アスリートおよびその他の実験協力者の内省報告を重視し、主観的データも併せた研究を行う。
備考	鹿屋体育大学開講
授業形態	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「知の創成力」に関連する。
授業の到達目標(学修成果)	学位論文のための研究にもいかせるように、指導教員および副指導教員の意見を踏まえて体育・スポーツ実践現場をシミュレートしたテーマについて討論したのちに、測定・実験を行い、成果を取りまとめて投稿論文に仕上げていく。
キーワード	実践的研究、研究計画立案、測定技術、データ処理、プレゼンテーション
授業計画	1. 実践的研究テーマ、測定法の検討；1 研究テーマを複数検討し提出 2. 実践的研究テーマ、測定法の検討；2 測定方法のアイディアを複数検討し提出 3. 測定機器について1 研究計画の測定機器の理解 4. 測定機器について2 研究計画の測定機器の理解　先行研究の概観 5. 実践的研究テーマにそった測定1 予備実験の準備 6. 実践的研究テーマにそった測定2 測定の実施　留意点の確認　倫理的配慮 7. 測定データの検討1 データ処理の確認 8. 実践的研究テーマ、測定法の検討；3 1回目のデータをもとにしたテーマ、測定法の再考 9. 実践的研究テーマ、測定法の検討；4 先行研究を含めて、研究テーマ、測定法の再考 10. 測定機器について3 追加する測定機器の確認、測定精度の確認 11. 実践的研究テーマにそった測定3 2回目の測定を実施 12. 実践的研究テーマにそった測定4 3回目の測定の実施 13. 測定データの検討2 この測定法で問題ないか再度確認 14. 投稿論文のためのプレゼンテーション1 投稿論文の内容の概要を発表 15. 投稿論文のためのプレゼンテーション2 再度精査した投稿論文の内容を発表	集中授業第1週目（2日間） 前田、山本、髙橋、金高 集中授業第2週目（2日間） 前田、山本、髙橋、金高 集中授業第3週目（1日間） 前田、山本、髙橋、金高
履修条件	特になし
成績評価方法	投稿論文の作成・プレゼンテーションを評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	指定した教材を事前に読んでおくこと。 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味を理解しておくこと。
教材・参考文献・配布資料等	『体育・スポーツ分野における実践研究の考え方と論文の書き方』福永・山本編著　市村出版（2018） 『アスリート・コーチ・トレーナーのためのトレーニング科学』山本正嘉、市村書店（2021） 随時必要な原著論文や専門領域に関する書籍や資料などを用いる。
オフィスアワー	随時だが、事前にアポイントをとることが望ましい 前田（スポーツパフォーマンス研究センター長室） 山本（スポーツトレーニング教育研究センター2階センター長室） 髙橋（研究棟8階809教員研究室） 金高（大学院棟3階4教員室）
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	スポーツパフォーマンス研究などの実践研究のジャーナルへの投稿を望む。
他の授業科目との関連	大学体育スポーツにおける実践的研究能力を醸成する科目